



ガザからのメッセージ

No.7

ガザ YMCA ユースによる救援活動

イスラエル軍とパレスチナ自治区ガザ地域のイスラム原理主義のハマス軍の戦闘が始まってから、わずか1か月の間に1,900人以上もの命が奪われ、そのうちガザ地域だけで429人の子ども達の命が奪われました。(8月7日ユニセフ)

8月11日に始まった72時間の停戦合意も、恒久的な停戦ではなく、予断を許さない状況にあり、ガザ地域の住民の多くは、自宅を破壊され避難所生活を余儀なくされています。避難所も受入人数をはるかに超える人々が押し寄せ、救援物資や感染症を予防する衛生管理がままならない状況です。「子どもたち約40万人に、お漏らしや両親から離れない、夢にうなされるなどを含め、精神的な不調の兆候が見られ、心のケア」が求められています。(8月7日ユニセフ)

このような状況を受け、ガザ YMCA では①救援物資の配布、②子ども達の精神的ケア・プログラムを始めました。ガザ YMCA のユースが中心となり、食料を配布したり、ほんのわずかな時間でも子ども達が安心して遊ぶことができるよう、様々なプログラムを実施しています。

ガザ YMCA の活動は、現地スタッフによって Facebook の「YMCA-Gaza」から発信されています。ぜひフォロー、シェア等お願いいたします。

皆様からお預かりした募金は、ガザ YMCA のこのような活動資金として活用させていただきます。

① 救援物資配布の様子



ガザ YMCA のユースが中心となり、食料や救援物資を仕分けし、配布を行っています。



② 子ども達の精神的ケア・プログラムの様子

子ども達を恐怖や不安から解放し、笑顔を取り戻す大切な時間です。

